

九州支店が安全大会 声掛け徹底し 完全無災害を

JFEシビル

【筑紫野】JFEシ

ビル九州支店は23日、福岡県筑紫野市の大丸

別荘でJFEシビル安全衛生協力会九州支部安全大会を開催し、32人が参加した。

冒頭に片淵恒昭・九州支部長(大洋建設専務取締役)があいさつを行ったあと、米倉真也支店長が壇上に立ち「九州支店は今年に入って休業災害、不休災害はゼロ。今後は、8月から12月まで昨年と同様に仕事が出てくる見通し。7月1日から安全週間に入るが、全

国の死亡災害は昨年よりやく1000人を割った。各企業の取り組みの結果だ。当社もシステム建築事業部は急激に売り上げを伸ばしているが、現場の数や規模が増えるにつれ危険を伴う作業が増えていく。しかし安全活動を適正に行った結果が、件数減につながっている」と明らかにし「安全衛生協力会の会員各社の社員一人一人が当社の安全スローガンや鈴木一秀・安全衛生協力会会長の安全に対するメッセージを読



安全表彰の様子

んでほしい」と語り、安全への注意を促した。

鈴木一秀・JFEシビル安全衛生協力会会長(有村建設社長)は「ここ数年の災害発生は減少傾向にあるが、我々協力

会の成績を見ると、1月から累計で6件発生している。5月末には重篤災害が発生している。JFEシビルの安全スローガンの認識を強く持っていたべきだ。声掛けなど徹底し、完全無災害を目指そう」と呼びかけた。

安全表彰では協力会会長賞としてシンコーの松野尾大氏、はせがわ工業の長谷川守氏が受賞。特別表彰(安全衛生担当役員賞)は内藤雅義氏、渡邊雅人氏、嶋田英和氏が表彰された。

安全宣言のあと、シンコーの松野尾大氏が「わが社の安全対策」を発表。続いて日等義男・JFEシビル安全衛生環境管理部長が同社の安全状況を説明。久留米労働基準協会(福岡県)の大光正一氏が特別講演を行った。